

令和5年7月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和5年7月26日（水）午前10時00分開会
午後4時26分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第21号から第24号
日程第7 報告事項 報告第22号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中上之仁	4番	中野文雄
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者（14名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部参事	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	教育総務課担当課長	久保修一
学校再編課長	上野樹	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	小山恵介
学校給食課長	廣瀬敏彦	幼児教育振興課長	藤田崇宏
幼児教育振興課副課長	増田剛之		

三田市立学校図書選定委員会 委員長 伊藤博之
副委員長 福本八重歌
特別支援担当校長 足立延也

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 靱井清陽
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和5年7月第295回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、議案第21号「令和5年度一般会計9月補正教育予算案に関する原案の決定について」、議案第22号「三田市立認定こども園条例の制定に関する原案の決定について」及び議案第23号「三田市立認定こども園条例施行規則の制定について」は未確定な情報等を含んでいるため、これらは非公開とし、後ほど審議したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第21号、議案第22号及び議案第23号の非公開議案の資料については後ほどお配りいたします。

また、議案第24号「令和6年度使用三田市立学校教科用図書採択について」は審議時間の関係上、非公開審議も含めすべての審議が終了した後に審議したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第24号は、全ての審議事項等が終了した後に審議することといたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和5年6月28日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、2番 大野 裕 己 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和5年7月26日水曜日午前10時00分開会
といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

7月20日は、小・中・特別支援学校、幼稚園の終業式でした。本年度の1学期は、アフターコロナの中、ようやくコロナ前と同様の教育活動、校外学習を実施することができ、子どもたちにとっても有意義な1学期を過ごせたのではないかと考えています。

様々な行事において、この3年間とは違う形での開催もあり、先生方も大変であったと思います。現在は夏季休業中ですが、研修等自己啓発に取り組まれていることと思います。一方で、子どもたちの来ない学校で、リフレッシュも含めて心身の回復、健康増進に取り組んでいただければと思います。

それでは、前回6月定例会以降の活動について報告いたします。

1) 三田市市制記念日(7/1)

7月1日、三田市市制施行65周年を迎え、その記念式典と「感謝と飛躍へのつどい」として、「さつき賞」と「さんだチャレンジャーズアワード」の表彰がありました。

さつき賞は、長年三田市のまちづくりに貢献いただいた7人の皆さんと、スポーツや文化活動にチャレンジ精神を持って取り組まれた皆さん7人と1組の方々が表彰されました。その中に、昨年、「コベルコ森の童話大賞」で、全国の小学生部門で金賞を受賞され、教育委員会へも報告に来ていただいた、ゆりのき台小学校の安田穂香さんもおられました。みなさんの今後の益々の活躍を祈っています。

2) 三田市教育委員会点検・評価委員会(7/4)

7月4日に、令和4年度の教育委員会の事務、施策を点検・評価した結果を第三者として評価いただく点検・評価委員会を開催いたしました。

第3期教育振興基本計画がスタートした1年目の施策点検ということで、様式も見直し、特に課題となった事業や、指標について説明しました。次回8月9日の2回目の委員会に向けて委員それぞれで評価をお願いしました。

3人の委員の皆さんの意見を取りまとめ、点検・評価報告書としてまとめたうえで、市民に公表してまいります。

3) 阪神地区教育長会議(7/19)

7月19日、兵庫県教育委員会主催の阪神地区教育長会議が西宮商工会館で開催されました。藤原県教育長とお二人の教育次長を始め、兵庫県教育委員会の幹部職員の皆さんと、阪神7市1町の教育長との会議でした。議題としては「不登校対策」と「少人数学級等の推進」についてでした。各市町の取組や要望を伝える中で、次年度の兵庫県施策につなげようとするものです。不登校対策では、本市の取組にもあります別室登校をサポートする事業を各市町とも取り組んでおられ、兵庫県としても重点プログラムを推進しており、次年度市町への支援が期待できるのではないかと感じました。

少人数学級では、今後兵庫県として中学校の35人学級などを視野に入れ、新たな兵庫型学習システムを模索されているようです。兵庫県と一体となった取組で、その効果を上げることが出来るよう期待しています。

私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長

それでは本日の議事につきましては、先ほどお伝えしました

(鹿嶽 昌功)

とおり、議案第21号「令和5年度一般会計9月補正教育予算案に関する原案の決定について」、議案第22号「三田市立認定こども園条例の制定に関する原案の決定について」及び議案第23号「三田市立認定こども園条例施行規則の制定について」につきましては非公開とし、後ほど審議いたします。また、議案第24号「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」は全ての議事、報告事項が終了後に審議いたします。

日程第7 報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第22号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第22号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、8月もよろしくをお願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、8月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

8月教育委員会定例会の開催日時は令和5年8月25日(金)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは引き続き議案第21号、22号及び23号の審議に入ります。ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

《事務局関係者以外入室》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは審議を再開します。
(3) 教科用図書採択を行うことについて
【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】
議案第24号「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局より説明をお願いします。

○教育研修所長
(小山 恵介)

議案第24号「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局より説明

○三田市立学校教科用図書選定委員会委員長
(伊藤 博之)

「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」三田市立学校教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

三田市立学校教科用図書採択に関する答申
「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について説明をお願いします。

○三田市教科用図書選定委員会特別支援担当校長
(足立 延也)

「令和6年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について具体的に内容説明。
学校教育法附則第9条の規定による一般図書の答申とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

いろんな教科をバランスよく学んでいくことが大事だと思いますが、教科のバランスについて、どう協議されましたか。

○三田市教科用図
書選定委員会
特別支援担当校長
(足立 延也)

すべての教科をバランスよく採択できるよう協議をしました。外国語科・英語科の図書が少ないことから、昨年度は、外国語科の図書を採択しています。理科や実技教科の図書が少ないのは引き続き課題です。また、学校現場からの要望に応じて協議・採択をしているため、教科に偏りが出ることも考えられます。次年度以降もバランスよく採択できるよう、引き続き協議していきたいと考えています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

今回、新規の一般図書で2種類のシリーズ本が選ばれていますが、それぞれのシリーズの中で、選んだ図書と選ばなかった図書の違いを教えてください。

○三田市教科用図
書選定委員会
特別支援担当校長
(足立 延也)

今回、新たに追加した一般図書は、それぞれのシリーズの中で、特に内容について学習する必要性が高いと考えたもの、また、テーマについて内容がわかりやすく示されている図書を選びました。シリーズ本を活用することで、発達段階に応じて、テーマに沿った系統的な学習を進めることができます。今後、さらにシリーズ本の調査研究を進めることで、一般図書を充実させていくことができると考えています。

○教育委員
(中野 文雄)

今の子どもたちの実態に合わせた教科書を採択していただいていると思います。子どもたちが、興味関心を持って視覚から入っていけるような教科書をたくさん選んでいただいております。特に、QRコード等を取り入れた、子どもたち自身で、感じて、学べるよう考えられている部分が素晴らしいと思います。これらの教科書を手にする子どもたちは、学ぶ意欲が増していくと思います。また、発達に課題を有する子どもたちが、個別や少

- 人数、または通常学級の子どもたちとの交流の中で、次の勉強に主体的に取り組めるような教科書を選んでいただいていると思います。教科書を通して、学習だけでなく人とのつながりを感じられるものであってほしいと思います。
- 教育委員
(大野 裕己)
- 多様な学びのニーズがある中で、子どもたちがわかりやすい教科書を選んでいただいていると思います。
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。
なければ学校教育法附則第9条の規定による一般図書、削除、新規を合わせた341冊の答申を採択させていただきたいとおもいますがいかがでしょうか。
- 教育委員
(異議なし)
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- それでは、答申どおり採択させていただきます。
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- 三田市立学校教科用図書採択に関する答申
【小学校教科用図書】について説明をお願いします。
教科が多いため、一教科ずつの答申、採択とさせていただきます。
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- 「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【国語】」の説明をお願いします。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)
- 三田市教科用図書選定委員会副委員長の福本です。私からは、小学校で使用される教科書の調査・研究について詳しく説明いたします。調査の日程については、十分な調査・研究の期間を確保するために、5月12日～6月23日までを調査・研究期間としました。調査研究にあたっては、本選定委員会における採択方針に従うとともに、公正確保の徹底に努め、公正公平に調査を行ってきました。それでは、教科ごとに説明させていた

だきます。

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【国語】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。採択候補と考える2社の推薦がありましたが、すべての出版社について、教科書も見ていただき、調査報告書を添付しておりますので、推薦された2社以外から採択することも可能です。推薦を受けた東京書籍、光村図書の2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、この後は、2社を中心に協議願います。何かご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

それぞれの教科書の特徴や良さは何ですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

光村図書は、「練習単元と本単元を組み合わせる」というように、学びを関連づけて単元を構成する工夫が見られます。しかし、国語科で身に付けた言葉の力をどのように活用させるのかが不明確な教材が見られます。

東京書籍は、入門期の拗音、撥音指導での視覚・聴覚支援、グラフや色遣い等のユニバーサルデザイン、不適切な言葉の排除など、総合的に人権や特別支援の考え方が徹底されています。

先程も説明した単元末の「生かそう」など、国語科で学習した学びを様々な場で活用することで、より確かな言葉の力を身に付けさせようとする意識が見られます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

若手教員にとって、三田の子どもたちが成果と課題を踏まえて学習を進める上で、教科書を使う良さについて具体的に教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

光村図書は、「たいせつ」コーナーに挙げられている内容が言葉の力だけでなく、学びの手順など多岐に渡り、学びの幅を広げることができます。

一方で、指導者による学習展開のばらつきが起こり、単身に付ける言葉の力の焦点化が難しいと考えられます。

東京書籍は、「資質・能力」として子どもたちが身に付けていく「言葉の力」の系統的に明示されています。また、教材の特性に合ったねらいが設定されているので、授業方法のスタンダード化が容易であり、若手教員にとっても指導がしやすいと考えられます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ありませんか。

それでは、小学校国語については、答申にありました第一推薦どおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【書写】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【書写】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

採択候補と考える東京書籍、光村図書の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。

○教育委員
(三木 尚美)

書き方の基本を学ぶという点で比較してどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

両社とも様々な工夫があり、技術の習得がしやすいです。光村図書は、「すうっ」「ぴたっ」などの擬態語・擬音語を使って、筆使いを直感的に理解できるよう工夫されています。3年生の毛筆では、右利き、左利きの動画がそれぞれあり、利き手に関係なく対応できるようになっています。東京書籍は、姿勢・執筆法を重視し、各学年の巻頭に姿勢の写真が大きく示されるなど、「書くことの基礎」を大切にしています。毛筆を使った学習では、豊富なデジタルコンテンツで手順や動きがよくわかります。ICT端末が活用されている中で、こうしたデジタルコンテンツが豊富にあることは、大きなポイントです。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

書写について、日常生活や他教科の学びとの関連等、技術の向上以外に考慮されたポイントはありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

三田市の書写の学習で特に意識しているのが「活用」という点になります。光村図書は、壁新聞や手紙など、全体的に児童が日常の中で扱う内容が数多く含まれており、日常生活における「手書き」を大事にしています。東京書籍は、「生活に広げよう」では、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力の育成ができるようになっています。それぞれ「活用」が意識されていますが、東京書籍の方がよりバランスを意識した構成となっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。
ないようでしたら、小学校書写については、答申にありました
第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【社会】」の説明
をお願いします。

○三田市立学校教科
用図書選定委員
会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【社会】」の内容
説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、日本文教出版
の3社です。その中で、東京書籍、日本文教出版の2社の推薦
がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろ
しいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

高学年の5、6年生の教科書で1冊にまとまっているものと、
政治経済と歴史で2冊に分かれているものもあります。201
8年に、文部科学省から通学時の鞆の軽量化の通知が出された
と思いますが、社会科という資料等が多い教科において、この
ように1冊と分冊との違いがある点について、選定委員会の中
で協議はなされたのでしょうか。

○三田市立学校教科
用図書選定委員
会副委員長

日本文教出版の教科書はかなり分厚くて、重たい印象があると思
います。実際、委員会でも協議されましたが、教科書自体は
1巻構成となっており、学習内容を相互に関係させながら学

(福本 八重歌)

習しやすく、効果的な学習ができます。

東京書籍は分冊となっており、1冊分が軽く、持ち運びがしやすいです。ただ、三田市の学校の現状としまして、通学時の負担軽減のため、持ち帰って使用する教科書は持ち帰りませんが、資料集や地図帳等は教室においておくことが可能です。教科書の重さについては、決定的なポイントとするまでには至りませんでした。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

社会科では、算数のように答えが出るものではありません。日常生活に関連する部分が多くある教科だと思いますが、指導のしやすさについてはいかがでしょうか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(福本 八重歌)

東京書籍は、学習のポイントや学習に関連する事柄について丁寧に示されていますが、文章の理解が苦手な児童にとっては文章量が多く、丁寧な読み取りが必要です。また、絵地図の学習のあと、すぐ地図記号が登場するなど、児童の学びのペースが考慮されているとは言い難く、指導の難しさが生じます。

日本文教出版は、本文が「学習活動」「学習内容」「友だちの発言」の3つに分けて表記されており、対話しながら指導できるようにしてあります。6年生の10ページにもありますように、単元の段階を「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追及・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」とし、授業内容も同様の流れになっており、指導しやすくなっています。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

それでは、小学校社会については、答申にありました第一推薦のとおり、「日本文教出版」の教科書を採択します。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【地図】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【地図】」の内容

科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、帝国書院の2社です。それでは協議願います。

○教育委員
(大野 裕己)

社会科の学習との関連はどうですか。また、3年生から6年生まで取り扱いますので、子どもの発達に合わせた指導のしやすさにおいてどうかを教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

帝国書院の地図には兵庫県や三田市が掲載されているページが多いです。また、帝国書院の地図には、49ページに三田市の浄水場が示されています。社会科の学習の中で、浄水場の水の学習がありますので、効果的に活用することができます。それぞれの学年で、社会科の学習と関連付けながら学んでいくことができると考えています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

地図は、子どもたちにとって、視覚から入ってくるものだと思いますが、見やすさや情報量についてはいかがですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

東京書籍は、日本地図は1/100万または1/50万がほとんどで、1/5万は京都、奈良、東京に限られます。また、色合いが暗く、特に大都市では情報が多いため地図の色が全体的に濃く見えにくい部分があります。

帝国書院は、広く見渡す地図(1/160万)と地方別の地図(1/100万、1/50万)、京阪神、愛知、東京の地図(1/20万、1/30万)、更に中心部を表す地図(1/5万)などがあり、目的に合わせて利用できます。また、高低だけでなく、土地利用が分かるように色分けに工夫がみられます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

地図は、視覚的に目に入る情報がとても大事になります。その情報を上手く整理する力が本によって違っていると思いますので、今回推薦いただいた教科書を見ていても、大きさや見やすさというところをどのように表現していくかが、とても大事だと感じました。三田を詳しく載せていただいていることはありがたく思いますが、視覚支援という意味合いも含めて、色合いや大きさが一番大事だと思いました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

それでは、小学校地図については、答申にありました第一推薦どおり、「帝国書院」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【算数】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【算数】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社です。採択候補と考える東京書籍と啓林館2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

算数の「割合」については従来から子どもたちが理解を深めるうでつまづきやすい単元です。割合は生活の中で考える場面も多く、比較的身近なところにつながりがありますが、子どもたちはどうしてもかけ離して考えてしまいます。その点については、指導する先生方においても学習を進める中で課題になると思いますが、この2社について割合の学習の扱いにどのような違いがありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

東京書籍は、3年生以降は「倍」に関する内容を単元化して、「割合」の三用法をセットで扱っています。三用法を相互に関連付けてとらえることで、「割合」についての理解を深めるようにしています。

啓林館は、「割合」の理解につながる単元を3年生から6年生で年間を通して分散させ、バランスよく配置されています。また、問題文と関係図をつなぐ関係文を掲載し、数量の関係性を整理しやすくする工夫がなされています。さらに、2年生以降で「倍」の考え方につながる単元が一貫性を持って設定され、連続した学びを通して考え方を深めていける構成になっています。

こうしたことから、啓林館の方が子どもたちにとってわかりやすい教科書であると考えられます。

○教育委員
(中野 文雄)

東京書籍は一括して掲載されている感じですが、啓林館は発達段階に応じて徐々に学習に深まりが出るような配列になっているということですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

調査した中でも、そのように評価されています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

算数に関して、三田の子どもたちは全国学力学習状況調査でも非常に成績が良いのですが、個々には課題があると思います。学力向上の面から、課題も含めて、どちらの教科書が良いか調査の結果からわかるものがあれば教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

令和4年度全国学力学習状況調査から、本市では、「計算で扱う数字や計算と日常生活場面とのつながり、意味理解」について課題があります。

啓林館は、子どもたちの思考を整理し思考を深めるために線分図や関係図が効果的に使われています。

東京書籍は、図や線分図などの抽象的な図だけが示されていることもあり、子どもたちにとって分かりづらい面があります。関係図を使った学習は、啓林館の特徴的な工夫の一つで、判断の根拠を示しながら数学的に説明する力を身に付ける上で効果的な教科書です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

他に何かご質問等ございますか。

それでは、小学校算数については、答申にありました第一推薦どおり、「啓林館」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【理科】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【理科】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社です。そのうち、東京書籍、啓林館の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

実験等、扱っている内容に違いはありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

内容については大きな違いはありませんが、実験のしやすさに差が見られ、やや啓林館の方が実験を行いやすいと考えられます。

東京書籍は、6年生「水溶液の性質」が気温の低い2月に配列されており、水溶液と金属の反応時間がかかるだけでなく、結果も得られにくいです。

一方、啓林館では、6年生「水溶液の性質」は、気温の低い時期では水溶液と金属の反応時間がかかるだけでなく、結果も得られにくいことから、気温の高い9月に配列されています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

2社を比べてみても、どちらも最初に学習の進め方等が示されていて、力を入れていることがわかります。三田の子どもたちの課題解決能力育成につながる視点で考えると、どちらが優れていると捉えられたか教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

昨年度の全国学力学習状況調査の結果からは、「身近な生活との関連」が課題であることが分かっています。この点では、身近な事象の取り上げ方や、身近な生活と科学技術との関連を扱っているのは啓林館です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
それでは、小学校理科については、答申にありました第一推薦のとおり、「啓林館」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

長時間経過しておりますので、少し休憩をとります。

《 10分間 休憩 》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは協議を再開します。
「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【生活】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【生活】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館の6社です。そのうち、東京書籍と啓林館の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

小学校入門期の学習内容となるスタートカリキュラムについてどう取り扱われていますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

どちらの教科書のスタートカリキュラムも、保護者向けのメッセージが掲載されていて、入学までの生活経験を丁寧に扱いながら、子どもたちや保護者へ安心が伝わる内容となっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

日常生活との関連をどのように図っていますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

生活科ですので、子どもたちは実際の暮らしの中で、学校からスタートし、学校の周りや自然といったところに少しずつ興味を広げていきます。そのような学びには、たんけんブックや、デジタル資料は大いに活用できます。学びの範囲を、兵庫県や三田市と広げていきますと、身近な題材が多く取り上げられているのは啓林館であり、自分の暮らす街への誇りを自然に実感し、地域の方々との関わりが深く根付くことが期待できます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

確かに、教科書を実際手に取って机の上に置いてみると、小学校の入門期のスタートとして、手に取りやすく机のサイズもちょうど良いものだと実感しました。学習の内容として、身近な場所からだんだんと範囲が広がっていき、社会や理科、生活を通してそれらの視点を学んでいくことがとても大事だと思います。その中で、三田市のことを取り上げている箇所がたくさんあるということは、子どもたちにとっての学びの環境としては良いものだと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

「わくわく（単元導入）・いきいき（主な活動）・ぐんぐん（振り返り）」といった段階をおって学習を進めていくことを意識されていることは、学年を追って学びを深めていく中で非常に大事なポイントだと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければ、小学校生活については、答申にありました第一推薦のとおり、「啓林館」の教科書を採用します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【音楽】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【音楽】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、教育出版、教育芸術社の2社です。
2社について、協議願います。

○教育委員
(中野 文雄)

それぞれの教科書に特徴があるのが良くわかります。「さんぽ」は、1年生から6年生までを通じて音楽という教科を子どもたちが学んでいく一貫性を感じました。また、情報等が充実する中で、音楽を生涯にわたって学ぶことに視点を置かれていることもよく分かります。学校教育の中で、音楽という教科は生涯にわたって音楽に親しみ、いくつになっても常に生活の中にあるものです。それらの基本となる部分が、小学校1年生からの学習の中で育まれていくものだと思います。音楽を楽しむことで、生活をより豊かにしたり、一人で楽しむことも、友達と一緒に楽しむこともできるのが音楽の魅力であり、歌や楽器の演奏で自分を表現することも味わえる大事な教科になります。このようなことを踏まえ、1年生から6年生までの担任の先生、または専科の先生が教科書を扱う中で、指導のしやすさについてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

6年間を通じて、音楽教育の中で、子どもたちの情操教育や心の部分、技能の部分を高めていくことは必要だと思いますので、しっかり指導を行っていくことは重要なことだと考えています。

教育出版は、題材名から何を学ぶかが児童にも指導者にも分かりにくい上に、音楽的技能の定着を図るためには、別の教材を指導者が選択しなければならず、経験の浅い指導者にとってハードルが高いと思われます。

教育芸術社は、1年生の32ページから33ページにありますように題材名で何を学ぶかが明確で、音楽的技能の定着を様々な教材で繰り返し身につけることができ、誰が指導しても一定の質が保障される教科書であると考えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

音楽で子どもたちの興味関心を引く工夫はどのようにされていますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

教育出版は、折込を使ったワイドな紙面で歌詞に忠実な写真が掲載され、音の高さに合わせて体を動かす活動がイラストや図で表現されています。

教育芸術社は、楽器との出会いが大切なものになるように、導入ページが設置され、意欲を引き出す工夫がなされています。学習のねらいの達成に向けて考えてほしいことや、発言の例をキャラクターの吹き出しで示しています。また、各地の郷土のお祭りや芸能の写真も多く、文化や芸術に対する関心を高める工夫が見られます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければ、小学校音楽については、答申にありました第一推薦のとおり、「教育芸術社」の教科書を採用します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【図工】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【図工】」の内容説明

○教育長

ありがとうございます。

(鹿嶽 昌功)

採択候補となる教科書は、開隆堂、日本文教出版の2社です。それでは、協議願います。

○教育委員
(三木 尚美)

作品についてですが、どのようなジャンルのものを取り上げられていますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

開隆堂は、諸外国の美術作品や幅広いジャンルの作品を紹介しています。

教育芸術社は、日本の伝統文化に関わる伝統工芸などが、特に高学年で紹介されています。

どちらも興味深い作品が紹介されていますが、日本の伝統文化に焦点を当てている作品が充実しているのは、日本文教出版です。指導のバリエーションが多く、児童の感性を引き出す点において、日本文教出版が優れています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

2社ともに、創造性あるいは表現力に繋げて、学びを導くような教材でそれぞれアプローチされていると見受けました。伝統文化においても、2社ともそれぞれに力を入れているのだと、説明を聞いてよくわかりました。三田の子どもたちの興味関心を引き出す点について、身近な教材はどのようなものを取り上げられていますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

開隆堂は、兵庫県に関しての取り扱いが1つあり、近畿圏内の取扱いは5つあります。

日本文教出版は、先程申し上げたように、兵庫県や近畿地方に関する内容が多く取り上げられています。5・6年上の巻頭見開きのページには、三田市にある「風のミュージアム」が掲載されており、学習を身近に感じる教科書であると考えられます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

図画工作の教科書は、子どもたちの発想や感性をどう深めていくかのきっかけになるものだと思います。「風のミュージアム」が見開きに掲載されていることで、子どもたちが教科書を開いた瞬間に関心を寄せることができる等、配列においても日本文教出版の方が優れていると説明いただきましたが、調査する中で、教科書の扱いも含めて2社の違いについて意見が出ていたら教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

子どもたちにとって、学習が教科書の真似事にならないよう、教科書から自分の思いを膨らませ、それらを実現するための技法を学びながら形にしていくものだと思います。そういった点から、身近なものがたくさん取り上げられており、伝統文化や現代の良いもの等、さまざまなジャンルで評価する中で、子どもたちの造形、発想の世界を広げていけるという点では、日本文教出版の方が適していると考えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければ、小学校図工については、答申にありました第一推薦のとおり、「日本文教出版」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【家庭】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【家庭】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、開隆堂の2社です。
それでは、協議願います。

○教育委員
(中野 文雄)

主体的な学びを大事にする点において、どのような工夫が見られますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

主体的な学びという視点は、2社ともに工夫が見られます。開隆堂は、情報量が多く、よりよい家庭生活につなげるための手がかかりが様々なページに記載されていますが、一方で情報の選択に時間がかかることも考えられます。東京書籍は、どの題材においても、ステップごとにめあてと振り返りがあり、生活を見つめ、生活をよりよく変えていく力をつけ、問題解決的な学習が展開できるようになっており、主体的に学ぶことができます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

家庭科は5、6年生で学ぶものですが、2年間を通じてカリキュラムを構成する上での両社の違いはどこにありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

開隆堂は、題材が細かく設定されていて、単元の系統性が分かりにくい面があります。東京書籍は、5年生から6年生、小学校から中学校へのつながりが分かりやすく、子どもたちが見通しをもって学習しやすい教科書です。また、先ほどの説明でも申しましたが、東京書籍は、5年生と6年生で関連する内容を同時期に配置されているものが多く、複式の年間計画が立てやすいです。三田市においても複式学級が増えてきていることから、東京書籍の教科書が三田市の子どもたちに適していると考えられます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。
それでは、小学校家庭については、答申にありました第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

長時間経過しておりますので、少し休憩をとります。

《 10分間 休憩 》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、協議を再開します。
「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【保健】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【保健】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、G a k k e nの6社です。
その中から、東京書籍と光文書院の2社の推薦がありました
が、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員
(中上 之仁)

子どもたちの学びやすさという点ではどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

両社とも子どもたちにとって学びやすい教科書です。子どもたちの身近な出来事から自分の健康を考える構成がなされていて、心身の健康のための資質、能力を育成できるような構成になっています。また、学習の流れも明示されており、見通しをもって学ぶことができるように工夫されています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

どちらの教科書も、今の子どもたちの現代的な課題にきちんと対応できるよう示されていると思います。例えば、東京書籍の13ページにありますように、一つの事からさまざまな学びにつながりますし、保健というのは命にかかわる教科書ですので、保護者会の中でこの教科書を使うのも良いと思います。教科書を通して幅広く知識を得て、学びを深める中で、子どもたちの興味関心を高める工夫についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

先ほども説明させていただいたように、両社とも良い教科書で、読みまちがにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

「東京書籍」は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた資料を取り上げている点、さらに兵庫県に関連する資料が豊富に使用されており、どちらかというところ、東京書籍の方が、三田の子どもたちにとって分かりやすく、学習を身近に感じる教科書であると考えられます。

○教育委員
(中野 文雄)

身近なところという点で、東京書籍の方が適していると考えて良いですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

内容もそうですが、先ほど説明の中で申し上げましたとおり、子どもたちが、自分の考えや学びを教科書に記したり、深めながら振り返ったりできる教科書になっています。その点についても評価されていましたので、総合的に見て三田の子どもたちの学びに適していると考えています。

○教育委員
(中野 文雄)

教科書が子どもたちの学びだけでなく、保護者や周りの大人も含め活用できるところは、これからの学校教育の中での一つの活用の仕方として考えていける見本になると思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

それでは、小学校保健については、答申にありました第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【外国語】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【外国語】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社です。そのうち、東京書籍と啓林館の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

子どもたちの中には、英語を苦手とする子ども多いと思いますが、英語が苦手な子どもたちへの抵抗感を軽減する工夫はありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

啓林館は、情報がやや多めです。また書く活動も多く設定されており、苦手な児童にとっては難しさが感じられる可能性があります。
東京書籍は、先程も申し上げたように、配色、レイアウト、絵や写真の分量、文字サイズ等に工夫が見られ、見やすい教科書となっています。また、児童が書くスペースの文字サイズが書きやすい大きさと、例やMy Picture Dictionaryにあわせて書き写しやすいものになっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

聞く、話す、読む、書くといった技能に関わる学習内容とかかわって、後に中学校につながっていくという小中一貫教育の視点から見て、どのような工夫がありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

啓林館は、「Can-Do-List」という各単元で「できるようになったことリスト」が巻末に示されていて、それぞれの単元で身に付ける力が系統的に示されていることは、小中一貫カリキュラムという観点からは有効であると考えます。しかしながら、各単元末で設定されている「読むこと」と「書くこと」の音と文字の学習では、1ページの中で学習する音と文字の数が7つ程度と多いことや系統性が少し不明瞭であることから、児童にはわかりにくさがあることが懸念されます。

東京書籍は、「Sounds and Letters」といった読み書き指導や、巻末の「Going to Junior High School」があり、中学校の学習内容にスムーズに接続できるような工夫が見られます。各単元末に設定されている「Sounds and Letters」といった音と文字の学習では、どの音と文字を学習するのか明瞭で、系統立てて学習できるように工夫されており、児童は学習したことをいつでも確認することができます。また、学習する音と文字の数も、2ページで4つの音と文字を学習すると設定されているなど、児童へのわかりやすさという点においても配慮されていると感じます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。
なければ、小学校外国語については、答申にありました第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【道徳】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

「令和6年度使用三田市立小学校教科用図書【道徳】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院、Gakkenの6社です。そのうち、光村図書と日本文教出版の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

道徳ノートなど特徴的なものがあったり、巻末の発問の工夫がなされていたり、さまざまところで両社の努力が感じられます。
教員が指導する観点や、子どもたちの学習面において、これらの教科書の使いやすさはいかがですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

光村図書は、話し合いやすい問いが設定されていることで、対話へと展開しやすい構成となっています。また、冒頭には主題と導入の発問が示され、教材の末尾には「考えよう・話し合おう」のコーナーがあり、見やすく児童に学習の見通しを持たせやすくなっています。
日本文教出版は、「みつめよう、生かそう」では、理解を確かめたり、深く心に刻んだり、未来への思いを持たせたりする発展的学習につながる発問が設定され、内容項目について経験の浅い教師にとっても多面的、多角的に捉えやすい構成となっています。また、教材に応じて、授業の流れに沿った3つの発問の例を全教材に示してあります。これによって、教師も児童も授業の方向性を共有することができます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

三田では、道徳が教科化になる以前から大切にしてきた学びであり、昨年からは市として人権共生条例を策定しています。条例の中では、多様性を認め合うことが一番重要だと示されており、答えは一つではなく、人それぞれの意見を認め合うことが大事だと思います。三田で大切にしてきた道徳教育は、どの教科書で進めていくことができますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

道徳が教科化され、学校現場においても道徳の時間でどこまで子どもたちの力を高めていけるのかを試行錯誤しながら進めています。子どもたちが自分と向き合う学習を大切にする中で、子どもたち自身が自分の思いを、多様性を認めながら伝えていけるよう取り組んでいるところです。

光村図書は、児童の身近な生活での道徳的課題が考えられるような場面設定がなされており、対話しやすい構造になっています。

一方、日本文教出版は、先程申し上げたように、副詞句での心情表現や主人公の明確な変容設定がされており、児童が意見を持ちやすく、自我関与させやすく、また主人公の心についてあえて書かないようにしている教材が多いため、心の中を考える対話的な学習を展開しやすくなっています。

そのため、日本文教出版の方が三田の道徳教育には合っていると考えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

日本文教出版では、道徳ノートが別冊としてありますが、やはりノートはあった方が良いですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(福本 八重歌)

子どもたちがその時の自分の考えや思いを振り返りやすく、1年を通して学ぶ道徳教育において、道徳ノートは大変有意義な学習の成果物と考えています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。
なければ、小学校道徳については、答申にありました第一推薦のとおり、「日本文教出版」の教科書を採用します。

以上をもちまして、来年度使用します全ての科目の採択を終了します。

最後に採択されました全教科書について確認いたします。
国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会「日本文教出版」、地図「帝国書院」、算数「啓林館」、理科「啓林館」、生活「啓林館」、音楽「教育芸術社」、図工「日本文教出版」、家庭「東京書籍」、保健「東京書籍」、外国語「東京書籍」、道徳「日本文教出版」以上です。

以上で教育委員会定例会を閉会いたします。長時間の協議ありがとうございました。